

グリーンスローモビリティの運行における利用促進手法の比較

大門健一 茂木侑生（新日本コンサルタント） 加野郁香（富山市）

■ グリーンスローモビリティ運行の背景と目的

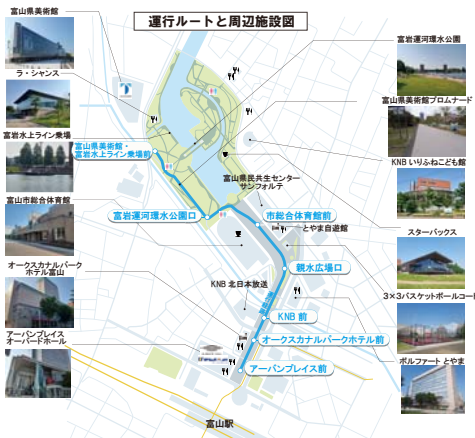
- 富山市ではこれまでに実践してきた、公共交通を軸としたコンパクトシティの形成を進めるにあたり、新たな交通手段として、**グリーンスローモビリティの試行運行**を実施することとした。
- 路面電車の南北接続が完了し、富山駅を挟んだ市街地の南北分断が解消された富山駅周辺において、地区の更なる**賑わい創出**とSDGs 未来都市としての**イメージ向上**、交通空白地域等での新たな交通手段としてPRを行う取り組みを行っている。
- この取り組みの知名度を上げ、利用促進を図るために、**多様な情報発信手段を活用**している。



■ グリーンスローモビリティ BouleBaaS の概要

○運行概要

- 富山駅北側から、利用者が多い富岩運河環水公園までの間、片道約1.0kmを歩道部、広場の**歩行者空間を共有しながら、土・日・祝日に往復運行**している。
- 人が歩くのと同様の速度で走り、約40分間隔にて運行



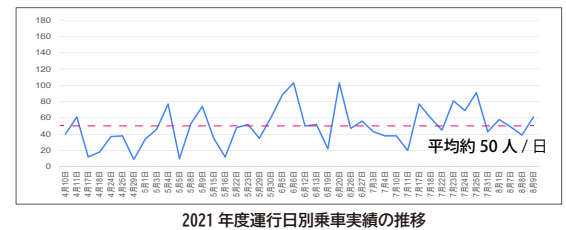
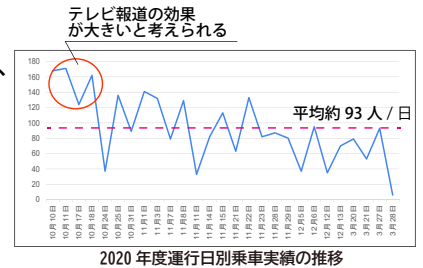
○車体等デザイン

- 車両名：BouleBaaS
「ブルパール」(通り名) × 「バス」 × 「MaaS」の造語
愛称：BB (ビービー)
- 車体のベースカラーはポートラムと同じパールホワイトとし、歩行者と同じ空間をゆっくりと走っていても違和感を与えない、親しみやすいカラーリングとした。



○利用実績の推移

- 気温・天候に左右されるものの、1日平均約50人の乗車がある。(2021年度の平均)
- 子どもに人気があり、親子での乗車が多く見られる。
- 運行当初は定員の関係で乗れない利用者もいた状況もあった。



時刻	アーンプレイス前発	富山県美術館・富岩水上ライン乗場前発
10時	05分	45分 25分
11時	25分	05分 45分
12時	45分	
13時	25分	05分 45分
14時	05分	45分 25分
15時	25分	05分 45分

標準運行ダイヤ

これまでの運行経過

- 昨年10月から運行開始
当初はアーンプレイス前～市総合体育館前
- 今年8月から富岩運河環水公園内へ延伸し、富山美術館前・富岩水上ライン乗場前まで運行

■ 情報発信と認知度検証

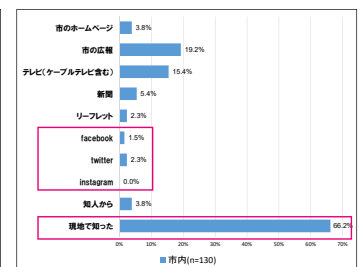
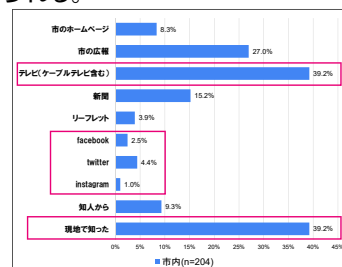
○情報発信の実施

- 知名度向上、利用促進に向けて多様な情報発信ツールを活用
 - 市広報：運行前に広報に掲載し、案内
 - テレビ報道：運行当初、ニュース等報道、広報番組で紹介
 - リーフレット配布：継続的に実施
 - SNS配信：運行日等に週1回以上投稿 (facebook, twitter, instagram)



○利用者アンケートからの認知ツールの検証

- テレビ報道は非常にインパクトがあるツールであるが、高頻度な活用には難しい
- SNSでの周知にはフォロワー数の獲得を図るまで、情報発信力は小さい。(フォロワー数：facebook36, twitter108, instagram66)
- 現地にて、車両を見ての乗車が増えており、**車両等デザイン効果**が見られる。



■ まとめ

- グリーンスローモビリティ運行の周知でインパクトの大きいツールはテレビであるが、継続的な広報が課題
- 車両のデザインによる現地での認知度向上の効果も伺えることから、活用方策検討が必要と考える。